

みんなで作る みんなの学校

学校長 梅田 比奈子

新年度が始まり、一か月がすぎました。それぞれの学年が、少しずつ新しい環境に慣れてきたのではないかと思います。1年生は、多くの上級生と出会い、たくさんのお話を吸収しています。2年生は、お姉さん、



お兄さんとして、1年生に学校を案内しました。3年生は、新しい始まった教科にドキドキ、ワクワク。4年生は、初めての宿泊体験学習に向けて話し合いを始めました。5年生は、上級生として、委員会活動を行い、学校全体のことを考えた活動に、積極的に取り組んでいます。そして、6年生。瀬小をよりよい学校にしようと、様々な場面で前向きに頑張っています。子どもたちは、学校をつくる主人公です。そして、学校をつくっているのは、子どもたち、教職員だけではありません。「ガーデンボランティア すみれ」の方々は、いつも学校の花壇をきれいにしてくださいます。今年度、横浜で行

っているローズプロジェクトの一環として、瀬小のるんるんフラワー委員会(園芸委員会)で「はまみらい」というバラを植えました。その植え付けにも協力してくださいました。「わくわく本の会」、「おはなしのふうせん」の皆さんは、子どもたちの図書館活用や読書の推進に力を発揮してくださっています。「学援隊」のみなさんは、雨の日も風の日も子どもたちの安全を守ってくださっています。そして、地域の方々は、子どもたちがより豊かに、学校や日々の生活が送れるように、様々な側面から協力してくださっています。もちろん、PTAの役員をはじめ、保護者の皆さんにもたくさんのお力を貸していただいています。さらに、本校には、大学生のボランティアや地域交流室でのボランティアなど、本当に多くの方がかかわって下っています。

先日、瀬ヶ崎小学校の64歳のお誕生日をお祝いしました。その中で、本校第四期卒業生で、PTA会長もなさっていた米澤榮三さんに、昔の学校のお話を伺いました。京急の横の桜は、防音のためにみんなで植えたこと、校庭をみんなで整備したこと、アスレの森の役割など、今まで瀬小にかかわってきてくださった多くの方々の思いが瀬小のあちこちに息づいていることが伝わってきました。

瀬小は、今まで、多くの人の手で物だけでなく、文化がつくられてきました。そして、大切なことを継承しつつ、より良いものがつくられてきました。「みんなで作る みんなの学校」そこには、伝統と誇りだけでなく、あたたかさが満ち溢れていることを改めて感じています。昨年度末に公示された学習指導要領の一つのキーワードが「社会に開かれた教育課程」です。これからは、授業の中でも、様々な方と出会い、社会とつながっていくことが大切になってきます。多くの方々が、一緒に学校のために活動してくださっている瀬小の良さを活かし、よりよい教育活動を一緒に行っていきたいと思っています。

